



琵琶湖Σ研究センター第8回シンポジウム

# 琵琶湖の価値を「10倍」高める

— 水産資源の可能性 —

2015年9月に公布、施行された「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」において、琵琶湖は「国民的資産」と位置づけられました。琵琶湖は保全・再生されるべき対象として扱われることが多くありましたが、それだけではなく、琵琶湖とその周辺地域が持つ水産資源、農業資源、観光資源等のコンテンツを整理し有機的に結び付けて考えることで、国民的資産である琵琶湖の価値や評価をより高めることにも繋がるのではないのでしょうか。

本シンポジウムでは水産資源の観点から有識者に講演をいただきます。互いの取り組みを知ることで産学官連携による価値創発に繋げ、ひいては琵琶湖の価値を高める活動に繋げていきたいと考えております。本テーマに関心をお持ちの皆さまのご参加をお待ちしております。

9/21 木 14:00-19:00  
(受付開始 13:30)

立命館大学びわこ・くさつキャンパス  
ローム記念館

参加  
申し込み  
(無料)

下記URLよりお申し込みください。

<http://bit.ly/sigma08>

申し込み締め切り: 9/14(木)



<お問い合わせ先>

立命館大学 研究部 BKCリサーチオフィス 三木・魚谷・八木

TEL 077-561-2802 (平日9:00-17:30)

MAIL r-miki-a@st.ritsumeikan.ac.jp

主催 立命館大学総合科学技術研究機構 琵琶湖Σ研究センター

共催 公益社団法人 滋賀県環境保全協会

## 14:05 ポスターセッション

理工学部、生命科学部、薬学部の学生を中心に20題程度を予定

講演1

15:10

## 琵琶湖の水産業

—これまでの取り組み、そしてこれから  
滋賀県水産試験場 次長 桑村 邦彦 様

講演2

15:50

## 水産資源確保のためのロボット利用可能性

理工学部ロボティクス学科 教授 川村 貞夫

講演3

16:20

## 三方美しスタディ: 滋賀の健康を食から考える —「ab豆倶楽部」を例に

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 教授 海老 久美子

講演4

16:50

## 湖国食材の魅力を再発見

—フレンチの技法を用いた新たな“食”の提案—

琵琶湖ホテル レストラン調理部 洋食調理課 料理長 稲葉 章夫 様

17:30 情報交換会 (会費:1,000円)

